

社会福祉援助技術現場実習受入の手引き



社会福祉法人氷見市社会福祉協議会

はじめに

氷見市社会福祉協議会では、氷見市出身の学生に限らず、県内・県外を問わず、社会福祉士資格取得を目指す学生を広く受け入れています。

これは、氷見における地域福祉展開を広く知っていただき、全国で実践していただきたいという思いがあります。

また、受入側として、普段の業務の振り返り、第三者による評価、説明能力の向上など実習生を受け入れることで、職員自身の技術向上の場として、有効に活用させていただいています。

その他、地域やサービス利用者に対しては、普段の活動や生活のマナー化防止、活動の確認（振り返り）という目的で、広く理解をいただいた上で、それぞれに受入をお願いしています。

1. 氷見市型実習のねらいと意義

氷見市型（地域型）実習は、従来の社協実習とは、異なります。従来の実習は、社協の業務体験を通して、社協の役割を知ることを主目的としていました。

従来の実習プログラムでは、地域福祉活動や各種サービスを体験し、その場において社協の役割を理解するに留まり、事業間の関連性や総合的な事業展開まで深めることが困難で、十分に社協の役割を理解してもらうことができませんでした。

この氷見市型実習では、社協の役割はもちろん、氷見市全体の地域性を理解し、ソーシャルワーカーとしての技術を身につけることを主目的としています。

この実習のねらいは、主に以下のとおりです。

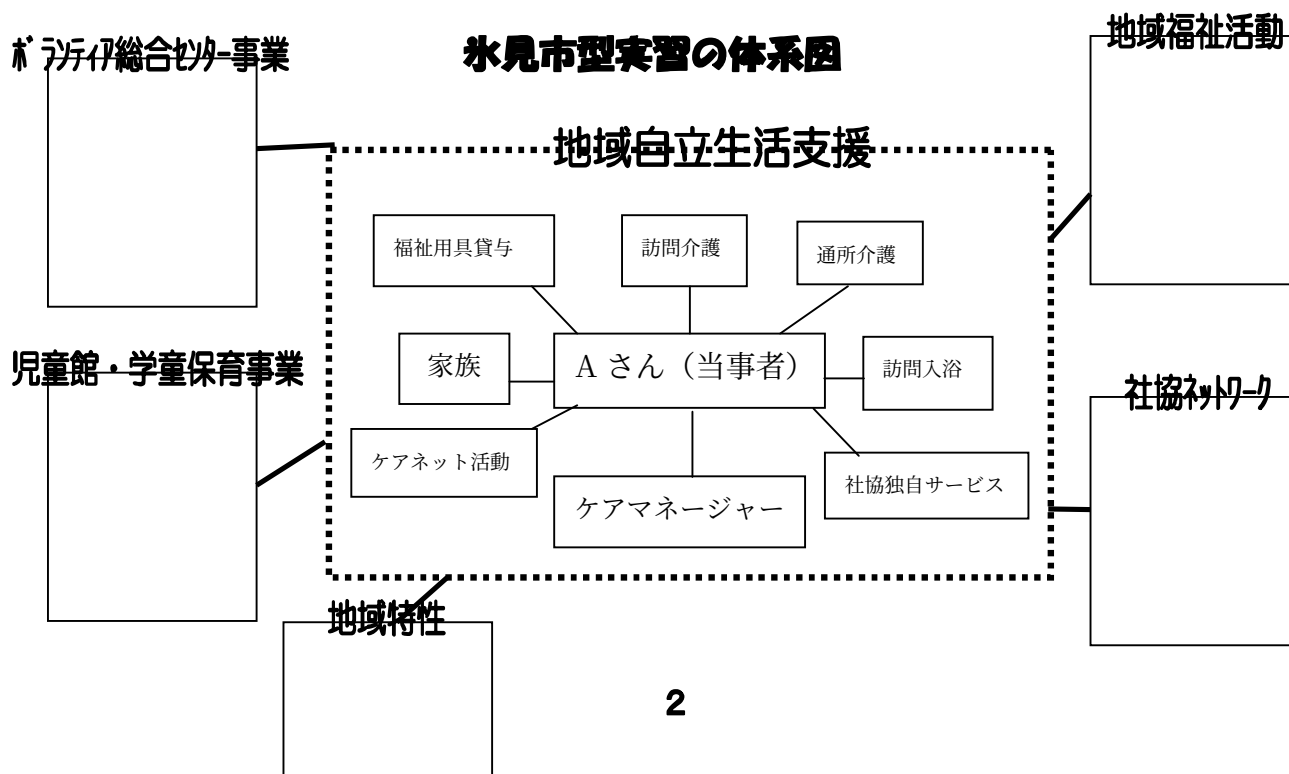
- 実習プログラムを通して社会福祉士（ソーシャルワーカー）としての技術を身につける
- 個別の課題を地域の課題として動いている地域福祉活動、市社協事業、他機関との連携について、プログラムを通して、「市民が住み慣れた地域で安心して生活できる環境」を学ぶ

2. 氷見市型実習の具体的な流れ

基本的な流れについては、以下のとおりです。

- ① 実習生に介護支援専門員がつき、当事者に関わる事業所（サービス）、地域住民（インフォーマルサービス）についてそれぞれの現場を体験し、その人の理想のケアプランを作成し、担当介護支援専門員のアドバイスを受ける。
- ② その他、「地域へのアプローチ」（個を支えるためのさまざまな取り組み）として、社協事業を中心に各種事業を体験し、個と地域、各種事業の関係を理解する。
- ③ 各実習生の個別の実習計画については、同時進行で学びを深めていってください。
- ④ 実習最終日に、プログラムを通じて学んだことを発表する
 - ・ 実習のまとめー氷見市の地域性、氷見市社協の役割、個を支える様々な関係機関の整理など（プログラムによって、多少異なる場合があります。）
 - ・ ケアプランー個別で担当した利用者のケアプランについて、短・中・長期と目標とケアの方針を設定してもらいます。その中で、実習中に体験したことをもとに、本人が主体的に生きがいを持って生活できるようにすることを主目的として、既存のサービスだけでなく、新たなサービスを開発したり、地域住民とのつながりや地域福祉活動につなげられるようなプランを作成して下さい。
(このケアプランは専門的なものは求めています)

この他、実習生は、あらかじめ事前学習を通して、独自の視点で実習テーマを設定していると思いますので、実習プログラムの中で、それぞれが設定したテーマに沿ったプログラムを提供します。



3. 具体的な実習プログラムの選択

個別援助実習については、担当ケアマネージャーがつきます。ケアマネージャーが選定した利用者が実際に利用しているサービスを利用者が利用している時に、実際に現場に入りますので、あらかじめプログラムは決まっています。また、社協だけでなく、利用者の状況によって、他事業所での実習もあります。

その他、各実習生の実習計画に沿ったプログラムは選択制ですので、希望を取らせていただきます。ただし、すべてを実現できない場合もあることを了承下さい。

個別援助と関わりの深いプログラムについては、こちらでプログラムに組み込みます。

以下のプログラムを参考にしてください。

(必修)

分野	具体的な事業名	内容
地域福祉	ケアネット活動	ケアネットチーム員へのインタビュー 当事者宅を訪問 ケアネット会議への同席（日時が合えば）
	ふれあいランチサービス シルバー談話室	調理や準備の段階から入り、終わるまで体験をする。（三角巾、エプロン持参） ◎ 会場におけるレクリエーション披露 ◎ 介護予防教室寸劇
	とやまっ子さんさん 広場	スタッフとして、子どもたちと関わる。 携わっているスタッフへインタビュー
ボランティア関連事業	VC ミーティング	月1回のスタッフミーティングに同席 ケース検討研修同席
	VC 行事	実習期間に VC が行う事業にスタッフとして、準備から携わる
乳幼児・児童	児童館（学童保育）	子どもたちとの関わり ＊学童保育については、地域でも行っている ので、希望があれば地域での実習も可
	児童館ミーティング	月1回のスタッフミーティングに同席 ケース検討研修同席
個別援助実習	介護保険サービス	担当利用者が利用しているサービスを利用者が利用している時間に入り、そこでの利用者の様子や専門職の動きを把握する。

＊ この他、地域特性の理解のためのオリエンテーションや、実習中間には、実習生同士の情報の共有を図る時間を取ります。

(選択)

分野	具体的な事業名	内容
地域福祉	子育てサロン	地域が主催している子育てサロンにスタッフとして体験
	地域独自の行事	異世代交流、料理教室など地域独自の行事参加
	地区社協会合	地区社協会合に同席
ボランティア	ボランティア活動者へのインタビュー	市全域で活動しているボランティア活動者へインタビュー
高齢者	寿養荘（社協デイ）	利用者との関わり
	介護保険サービス	自分の担当している利用者が利用しているサービス以外のサービス
	地域包括ケア会議	地域包括支援センター（市事業）の会議に同席し、他機関とのつながりを理解する
	ケアマネジャー研究会	月1回開催している介護支援専門員の研修に同席
障害児・者	障害者福祉センター 我家	我家で実施しているサービスについて、利用者に付き添いながら理解
	障害者サービス調整会議	障害者分野における他機関との連携、情報の共有について理解
乳幼児・児童	ファミリーサポートセンター	託児所、一時預かりの現場実習
行政との関わり 理解	関係課の業務説明	社協との関わりがある行政担当課の業務（役割）例 地域包括支援センター、福祉課、健康課など

＊ 上記の他に、具体的な希望があれば、可能な限り調整します。

4. 実習における個人情報保護について

①実習生の個人情報の取り扱い

実習生の個人情報については、氷見市社協個人情報保護規程に基づき、厳重に取り扱うとともに、大学側の個人情報保護に関する方針に基づき、厳重に取り扱わせていただきます。

実習生の日々の日誌について、受入側として、日々の業務の確認と学生の貴重な意見を参考にさせていただくために、大学側・学生の了解を得た上で、コピーをとらせていただきます。

コピーした日誌については、個人名が特定できないよう細心の注意を払い、外部に漏れることのないように、取り扱います。(具体的には、職員のミーティング、職場内研修において、参考にさせていただきます)

実習期間中に個別支援に関わる個人情報の取り扱いですが、地域福祉を進める上で、個人情報が不可欠な場面が多々あることから、実習生には信頼関係のもと、必要資料として、配布します。

ただし、実習終了後は、返却していただきますので、実習中に知り得た個人情報については、記録を取るなど、各個人で工夫してください。

その他、個人情報に関しては、大学での事前学習などで遵守するよう指導されていると思いますので、受入先としての指導は特に設けません。

5. 実習期間中の生活について

① 自宅からの通勤の場合

自宅から通勤する場合は、公共機関もしくは、自家用車等を利用し、事故のないように通勤してください。

尚、実習時間中は、職員が付き添い、送迎します。

②宿泊実習の場合

	内容	使用料
宿泊	老人休養ホーム寿養荘	1日：2,500円
食事	朝、昼、晩の食事については、各自用意してください。 (朝、夕食については、調理室がありますので、使用可能です)	各自負担
入浴	シャワーのみ使用可	宿泊料込み
諸費用	布団代(リース)	基本料金2,000円+(100円×宿泊日数)
移動手段	基本的には、社協公用車を貸し出します	
洗濯	近隣のコインランドリーをお使い下さい。	各自負担

《実習に関するお問い合わせ先》

〒935-0011

富山県氷見市中央町12-21

社会福祉法人氷見市社会福祉協議会

氷見市ボランティア総合センター

実習担当：森脇

TEL 0766-74-1800

FAX 0766-74-8055